

下水道事業コスト構造改善プログラムのポイント

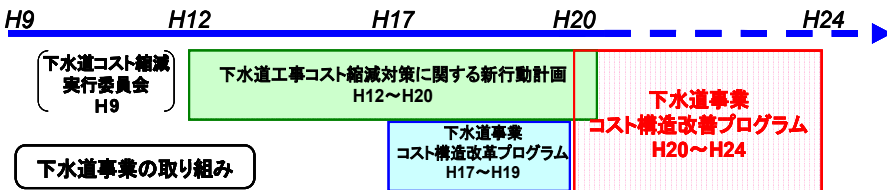
コストと品質の観点から下水道事業を改善し、
良質な下水道ストックを効率的に整備・維持することを目指す

(1) プログラムの位置づけ

- ◆これまでの「総合的なコスト縮減」からコストと品質の両面を重視する取り組みへの転換を図るため、**VFM最大化を重視した「総合的なコスト構造改善」**を推進
- ◆下水道としてのコスト構造改善の全国的な取り組みを推進するために**基本的な考え方、具体的施策や事例、フォローアップの実施方法**等を提示

(2) プログラムの期間

平成20年度～平成24年度（5箇年）



(3) 施策の分類

維持管理を新たに柱立てし、4つの観点とする

- ◆事業のスピードアップ → ◆事業のスピードアップ
- ◆計画・設計から管理までの各段階における最適化 → ◆計画・設計・施工の最適化
- ◆計画・設計から管理までの各段階における最適化 → ◆維持管理の最適化
- ◆調達の最適化 → ◆調達の最適化

(4) 効果の算出

下水道事業の計画、設計、施工、維持管理までのすべてのプロセスを対象として、以下の項目を評価し、**総合コスト改善率**を算出

- ◆**工事コストの低減**
- ◆**ライフサイクルコストの低減**
 - ◇運転管理費の低減
 - ◇清掃・点検・修繕費の低減
 - ◇長寿命化によるライフサイクルコストの低減
- ◆**社会的コストの低減**
 - ◇事業便益の早期発現
 - ◇環境負荷の低減
 - ◇通行規制の改善

(5) 新たに追加した主な施策事例

- ◇長寿命化対策の推進
 - ◇省エネルギー機器の導入（超微細気泡散気装置等）
 - ◇未利用エネルギー（風力、水力、太陽光、下水熱）の活用
 - ◇下水道未普及解消クイックプロジェクト社会実験の実施
 - ◇非開削耐震化工法の採用
- 等

(6) 取り組みの推進

各地方公共団体等は、本プログラムを参考にしつつ、事業の進捗や地域の特性を考慮して、総合的なコスト構造改善に向けた取り組みを実施